



JAXA 宇宙科学研究所 常田所長(右)
当社高田社長



授与された感謝状

ジオスペース探査衛星「あらせ」への貢献で感謝状

2016年12月20日、イプシロンロケット2号機で打ち上げられたジオスペース探査衛星「あらせ」は打ち上げ後1年を経過し科学データを順調に取得しています。

当社は、この「あらせ」衛星の5機種の観測機器と6機種の高圧電源の開発を担当しています。2017年9月に発生した大規模な太陽フレアでは、宇宙嵐の発生から終息までの一連の貴重な科学データを取得することに成功しました。今回、「あらせ」衛星搭載機器の開発における貢献が認められ、JAXA 宇宙科学研究所様から感謝状をいただき、あわせてジオスペース探査プロジェクトからも貴重なデータ取得に関わった観測機器と高圧電源開発に対して感謝状をいただきました。

明星電気は今後も粒子計測技術の向上や搭載機器の開発をととして、衛星探査ミッションの成功に貢献していきます。

(担当: 宇宙防衛事業部)



イプシロンロケット3号機
打ち上げの様子

イプシロンロケット3号機 打ち上げ成功

1月18日6時6分、内之浦宇宙空間観測所において高性能小型レーダ衛星 (ASNARO-2) を搭載したイプシロンロケット3号機の打ち上げが成功しました。

当社が開発を担当し、搭載されている機器は以下のとおりです。

- ・電力シーケンス分配器 (PSDB) 3台
- ・ホットガスバルブ (HGV) モータコントローラ 1台
- ・ロケット搭載カメラ 1台
- ・ロケット搭載カメラ、照明装置一体型 2台
- ・画像圧縮伝送装置 (PCE) 1台

イプシロンロケットは、運用コストの低減と将来の小型衛星の打ち上げ需要への対応を目指した固体ロケットです。特に、当社が開発を担当した電力シーケンス分配器 (PSDB) は機械式リレーを半導体リレーに変えることで、従来の約2分の1の質量へ小型化することに成功し、打ち上げ搭載能力向上に寄与しています。

明星電気はこれからも日本の宇宙開発の発展に貢献していきます。

(担当: 宇宙防衛事業部)



南海電設様展示ブース

第22回震災対策技術展にPOTEKA、QCAST展示

2月8、9日にパシフィコ横浜で震災対策技術展が開催されました。南海電設株式会社ブースに、当社の超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKAと緊急地震速報受信ユニットS740を展示していただきました。

本展示会は約200社の防災関連メーカーや省庁、自治体などが出展し、防災に関するシンポジウムやセミナーも並行して行われるなど、18,000人以上の来場者があり、大盛況の2日間となりました。

今年予定されている緊急地震速報のPLUM法[※]への対応や設置が容易なPOTEKAなどにより、ビジネスパートナー様と協力して社会の安全安心に貢献していきます。

※PLUM法: 巨大地震が発生した際でも精度よく震度が求められる新しい予測手法

(担当: 気象防災事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。